

建設大臣賞

■常磐浜寺線整備事業 (表彰対象者：大阪府土木部)

受賞の理由

市街化の進展しつつある本地区において、地下鉄、共同溝、自転車駐車場を一体的かつ立体的に整備し、新市街地にふさわしい土地の高度利用を実現したものであり、計画性、経済性に優れた事業として評価されたものである。



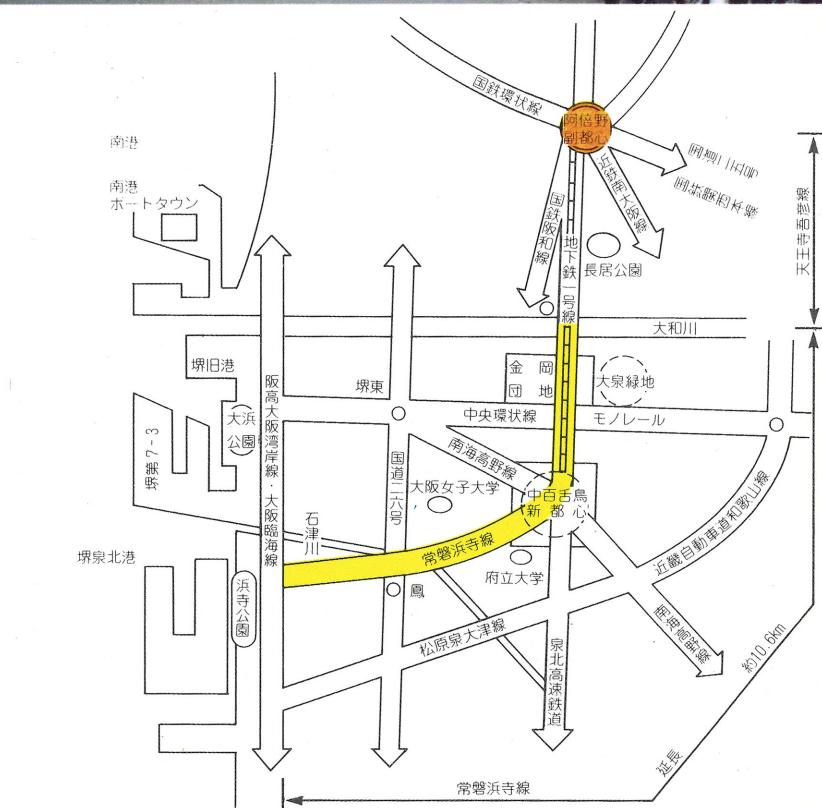
事業のあらまし

この事業は、新都心として整備の進む堺市の中百舌鳥地区の骨格を形成する街路として地下鉄（大阪市高速鉄道1号線）や共同溝、それに街路のアンダーパス部分の上部を活用して自転車駐車場の整備を行ったものである。

- ・延長 1,681m
- ・幅員 27m
- ・事業費 2,377百万円
- ・事業実施期間

昭和54年4月～昭和63年3月

側道部における駐輪状況



自転車駐車場

当地区では2千台以上の駐車があり、地下鉄開通後は更に増加することが予想されたため、常磐浜寺線の本線上部を駐車場として有効利用することとし、新たに700台の駐輪場を確保した。（→）

受賞者の一言コメント

本路線の整備にあたっては、限られた工期の中で、「新都心にふさわしい環境、景観に配慮した先行的な都市基盤整備に努める」ことを基本に、無電柱化を目指した共同溝、駐輪対策としての都市計画駐輪場を加えた街路空間の立体利用へと発想を拡げ、一体的な取り組みに努めた。受賞を励みとして、今後とも街路事業の推進に努力したい。